

# 白岡市における部活動の地域移行の取組について (地域クラブ活動)



令和5年3月17日(金)

埼玉県 白岡市教育委員会 教育指導課

少子化

篠津中学校

菁莪中学校

多忙化

白岡中学校

南中学校

部活動数 50

(運動部 35 文化部 15)

多様化



**中学校教職員の  
働き方改革**

**持続可能で多様な  
部活動**

# 中学校部活動と地域クラブ活動の比較

	中学校部活動	地域クラブ活動
位置付け	<u>学校管理下の教育活動ではあるが</u> <u>教育課程外の活動</u>	<u>学校管理下外の教育活動</u>
活動内容	<u>生徒による主体的な活動</u>	<u>生徒による主体的な活動</u>
指導者	教職員	地域クラブ活動指導員 ※教職員の場合は兼職
活動日数	平日 4 日以内 土日 1 日以内	休日週 2 日以内 ※中学校部活動と合わせて週 5 日以内
活動場所	学校施設	学校施設・公共施設
鍵の管理	学校（教職員）	管理団体 (地域クラブ活動指導員)
手当・謝金	2, 7 0 0 円 / 1 日 (休日 2 時間 1 分以上)	2, 0 0 0 円 / 1 時間 ※原則、1 日 3 時間以内
生徒の保険	日本スポーツ振興センター 災害共済給付制度	スポーツ安全保険
指導者の保険	労務災害 等	スポーツ安全保険
責任の所在	校長、設置者	管理団体、設置者

# 実態調査アンケートの概要

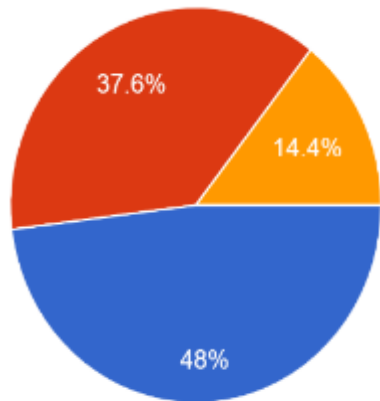
## 調査の概要

- (1) **調査目的**：白岡市内の中学校における部活動の実態及び地域部活動への移行に向けた希望等について把握する。
- (2) **調査期間**：令和3年8月6日（金）～  
令和3年8月15日（日）
- (3) **調査方法**：インターネットによる無記名回答  
（市内中学校4校からメール配信で各家庭及び教職員に依頼）
- (4) **調査対象**：市内中学校1・2年生の生徒及び保護者、  
中学校教職員
- (5) **回答率**：約70%

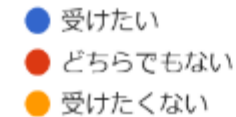
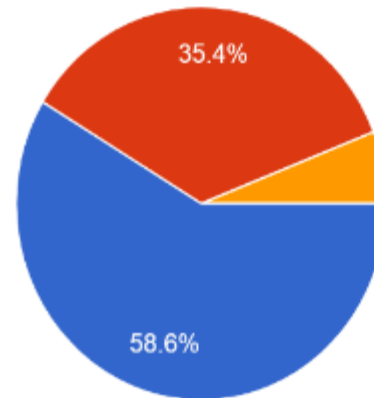
# 実態調査アンケートの概要

## 地域の専門家による指導を受けたいか

生徒



保護者



- 生徒、保護者も半数近くが専門家の指導を受けたいと回答
- 一方で、生徒は15%が受けたくないと回答

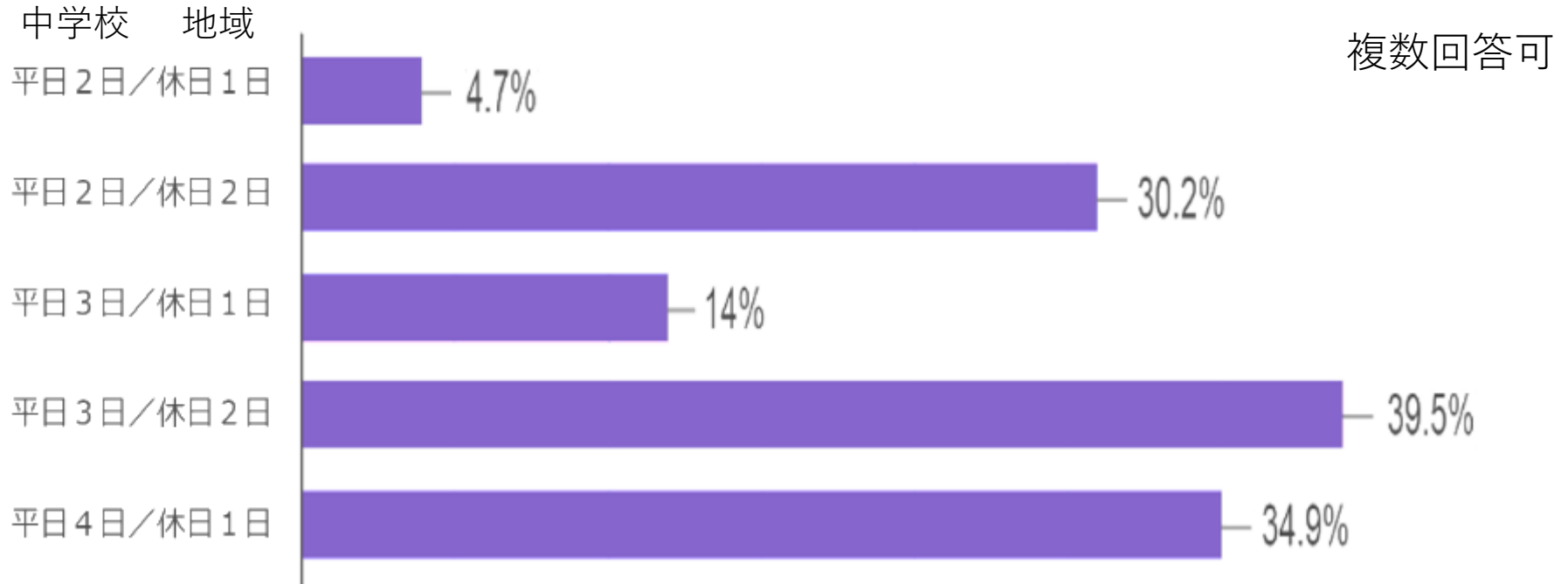
学校（先生）への信頼もある。

指導者が地域人材かよりも適任かどうか大切。

# 実態調査アンケートの概要

## 休日が地域の専門家による活動となった場合の活動希望日数

教職員

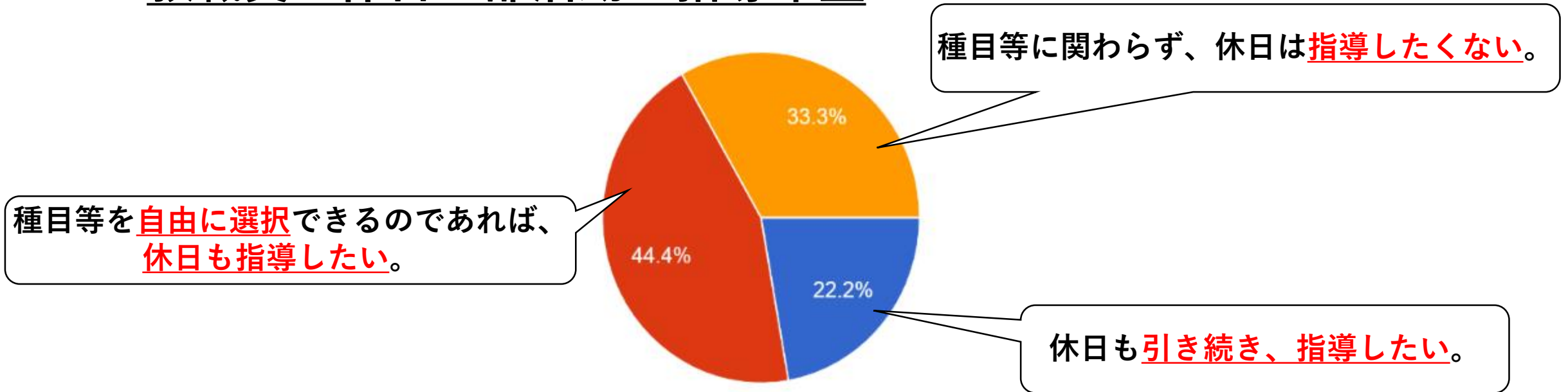


- ・ 教職員は「平日3日/休日2日」が最も多い

働き方改革にもつながるため白岡市独自のガイドラインを策定

# 実態調査アンケートの概要

## 教職員の休日の部活動の指導希望



- ・ 3人に1人の教職員は休日の指導を望まない。
- ・ 3人に2人の教職員は休日においても指導を望んでいる。  
ただし、種目等の内容による。  
現状として、教職員は種目等を選ぶことができない。

活動を望む教職員は非常に多いが、同調圧力の意識改革も必要



# 中学校教諭の部活動指導のパターン

**兼職兼業**

	部活動指導希望の有無	理由	指導力	地域クラブ活動
<b>A</b>	<b>有</b>	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導が <u>できる</u>	◎
<b>B</b>	<b>有</b>	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導が <u>できない</u>	△ (研修必須)

- エビデンスに基づいた指導ができない。
- 高圧的な言動、体罰、各ハラスメント
- 教育的(主体性、公正公平、生徒理解等)な指導ができない。
- いじめ対応、トラブル対応、保護者対応
- お金の管理、個人情報管理 **研修や資格の必要性**

# 中学校教諭の部活動指導のパターン

	部活動指導希望の有無	理由	指導力	地域クラブ活動
A	有	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができる	◎
B	有	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができない	△ (研修必須)
C	有	生徒指導面等を考慮して仕方なく(同調)	さまざま	×

• 教科指導や学級経営、平日の部活動(生徒の主体的活動を見届ける)に専念していただきたい。

感覚としては、このCパターンの先生が一番多い。

# 中学校教諭の部活動指導のパターン

	部活動指導希望の有無	理由	指導力	地域クラブ活動
A	有	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができる	◎
B	有	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができない	△ (研修必須)
C	有	生徒指導面等を考慮して仕方なく(同調)	さまざま	×
D	無	指導できない 負担が大きい	適切な指導ができない	×

・部活動指導をしないという選択肢をためらいなく堂々と使ってもらおう。

# 中学校教諭の部活動指導のパターン

	部活動指導希望の有無	理由	指導力	地域クラブ活動
<b>A</b>	<b>有</b>	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができる	◎
<b>B</b>	<b>有</b>	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができない	△ (研修必須)
<b>C</b>	<b>有</b>	生徒指導面等を考慮して仕方なく(同調)	さまざま	×
<b>D</b>	<b>無</b>	指導できない負担が大きい	適切な指導ができない	×
<b>E</b>	<b>無</b>			

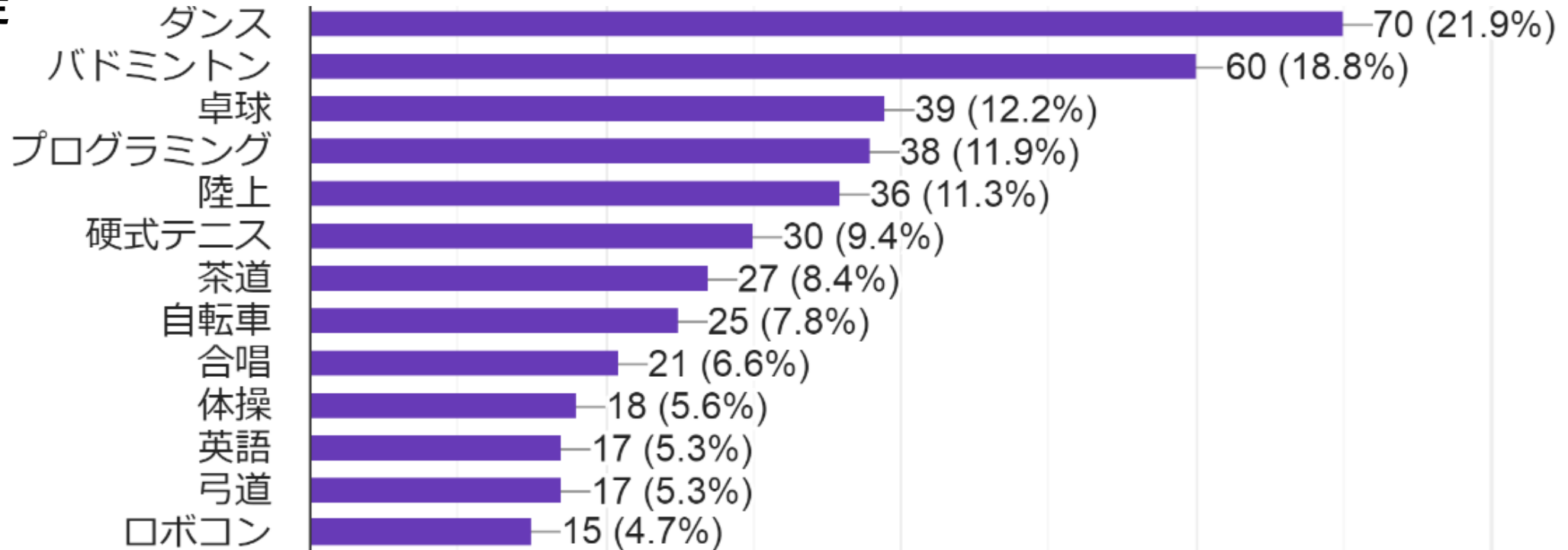
# 中学校教諭の部活動指導のパターン

	部活動指導希望の有無	理由	指導力	地域クラブ活動
<b>A</b>	<b>有</b>	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができる	◎
<b>B</b>	<b>有</b>	先生自身が部活動の指導をしたい	適切な指導ができない	△ (研修必須)
<b>C</b>	<b>有</b>	生徒指導面等を考慮して仕方なく(同調)	さまざま	×
<b>D</b>	<b>無</b>	指導できない 負担が大きい	適切な指導ができない	×
<b>E</b>	<b>無</b>	<p>・部活動指導があるから、そもそも中学校教諭を目指さない。 中学校教諭のなり手不足の解消も期待できる。</p>		

# 実態調査アンケートの概要

## やってみたい部活動 ※通学している中学校にない種目等

生徒



- どの中学校にもないダンスが人気
- バドミントンや卓球、陸上は一部の中学校にしかない。

このような生徒達の声（願い）にも応えてあげたい。

# 実態調査アンケートの概要

## 自由記述（生徒）

- 部活の選択肢が少ないのでもっと増やして欲しい。
- 小学生のソフトボールチームが白岡市内に3つあるのに、部活としてないのは悲しいです。
- 部活を2つ掛け持ちできるようにしたら良いと思う。
- 好きな時に休みたい。塾みたいな感じがいい。
- 好きでやっているのに、好きな時に休めないのはおかしい。
- ジュニアの子達に勝てるわけがない。中学校から始めた子達だけの大会があるといいなと思います。
- 男女合同部があった方がいいと思います。個人種目とかは特に。
- コートが少ない。時間をずらせば効率よく練習できる。
- 今の顧問の〇〇先生がいいです。もっと先生と長く活動したいです。
- 地域の専門家は、水曜日のナイターでお世話になっている〇〇コーチが  
いいです！

# 実態調査アンケートの概要

## 自由記述（保護者）

- 場所や時間によっては送迎等親の都合で参加出来ない生徒がいたら可哀想かと思います。
- 行き過ぎた指導をしてしまうことがあった場合、学校が把握できるのかが心配。
- 部活動の顧問の先生の負担を減らすためにも外部コーチの積極的な活用をお願いしたいです。
- 先生方の業務縮小には大賛成ですが、中学校での先生との大切な時間を子どもたちから奪わないでほしい。
- 顧問の先生はとても熱心に指導してくださっています。とてもいい部活環境だと思っています。
- 地域の指導者は、私が知る限り部活動としては不適切な方が多い。子供たちや親が指導者を評価する制度を検討してもらいたい。



# 実態調査アンケートの概要

## 自由記述（教職員）

- 部活動は完全外部化しないと教員の負担がさらに増えると思います。
- 学校では、部活動以外のことも部活動を通して教えている。そこに温度差ができ、生徒、保護者とトラブルになる。結局…学校ありきの部活動で今後もやるのか、全てを地域にするのか、この2択しかないと思う。
- 地域に移行するのであれば、大会やコンクールを休みの日に実施する必要がある。大会の主催者が考え方を変えないとどうにもならない。
- 多様化の時代。生徒指導面など不安な面はありますが、これからは子供たちにいろいろな経験を積ませ多様な価値観を学ぶことが大切だと感じます。
- 指導者の力量により、生徒のメンタルがケアできるか心配。
- 部活動が理由でトラブルや不登校になる生徒を何人も見てきました。責任は誰がとるのでしょうか。

# 白岡市における地域クラブ活動の展開イメージ



中学校部活動： 中学校の教職員が指導者（顧問）となる現行の部活動

地域クラブ活動： 地域人材が指導者（コーチ）となる部活動 ※これまでの外部指導者とは違い、中学校の教職員が立ち会わなくても単独で指導が可能となる。地域人材として地域のクラブチームの指導者や保護者、退職教職員の他、現役の小・中学校の教職員が兼職兼業として指導にあたることも考えられる。

# 地域クラブ活動における管理・運営のイメージ

白岡市

委託

プロポーザルで選定、  
業務委託契約を締結

地域クラブ活動の管理・運営を担う委託先団体

小・中学校

〇〇大学

スポーツ少年団

総合型地域SC

〇〇協会

〇〇連盟

自治体からも協力を要請

指導者

指導者

指導者

指導者

指導者

指導者

指導者

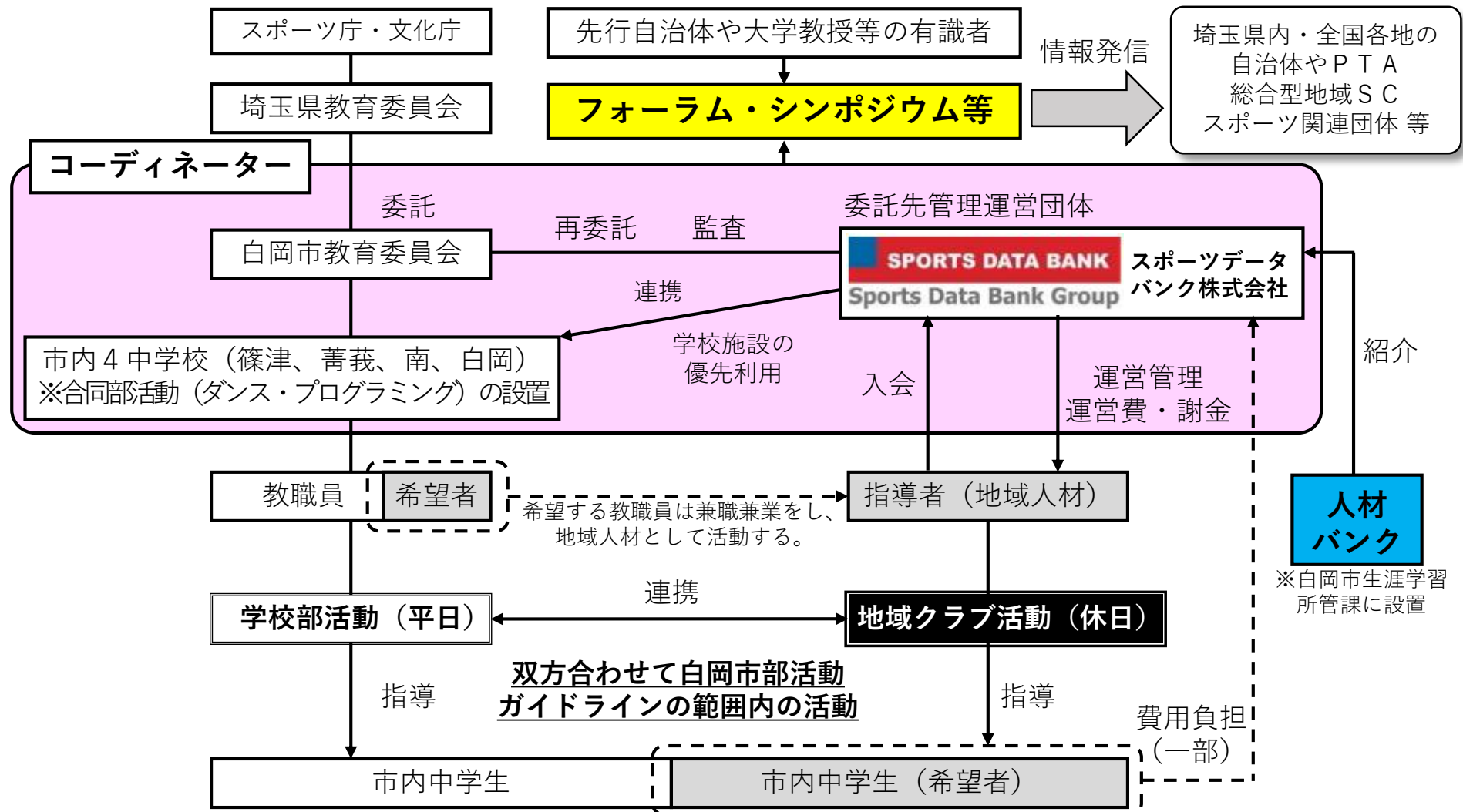
指導者

受け皿は、あくまでも委託先団体であり、**指導者は委託先団体に所属（契約）**する形式をとる。

教職員の場合は兼業兼職

謝金は指導者に  
委託先団体から**直接支払う**

# 地域クラブ活動の設置イメージ図（R4）



# 白岡市地域クラブ活動一覧（R4）

運動部			
市内4校	合同剣道部	南中学校	陸上部
市内4校	合同ダンス部	南中学校	女子ソフトテニス部
菁莪中学校	男女ソフトテニス部	南中学校	卓球部
菁莪中学校	男子バスケットボール部		
菁莪中学校	女子バスケットボール部	文化部	
菁莪中学校	女子卓球部		
南中学校	ソフトボール部	市内4校	合同プログラミング部

来年度（R5）中に、4校すべての部活動を50→30程度に再編  
 新設の合同クラブ活動を合わせて35部活動程度にする予定

# 菁莪中 女子バスケットボール部

## 指導者

- ・元プロ(Bリーグ所属)
- ・JBAコーチライセンス取得
- ・中高教員免許(教員経験あり)

## 中学校

- ・顧問はスポーツ経験(ラグビー)あり
- ・一般的なトレーニング指導はできるがバスケの指導や審判はできない。
- ・平日は休日のメニューを中心に生徒が自主的に練習に励む。
- ・生徒の教育面、先生の負担軽減ともに効果は絶大である。



# 菁莪中 男女ソフトテニス部

## 指導者

- ・民間テニススクールコーチ
- ・現役大学生 強豪高校出身
- ・高校等でもコーチ歴あり

## 中学校

- ・平日は男女別の部活動
- ・顧問のうち一人は保健体育の教員だがソフトテニスは未経験
- ・平日は休日のメニューを中心に生徒が自主的に練習に励む。
- ・先生の負担軽減とともに効果は絶大である。
- ・過度な勧誘等が心配されたが、契約の際にしっかりと確認し、大きな問題は起こっていない。



# 南中学校 女子ソフトテニス部

## 指導者

- ・白岡市ソフトテニス連盟所属
- ・地域移行前から外部指導者として活動
- ・各種オープン大会優勝

## 中学校

- ・平日から顧問の先生と連携して、練習メニュー等を決めて活動している。
- ・地域移行後も、余裕がある時は顧問の先生がボランティアとして一緒に指導している。
- ・中体連の大会の際には、部活動指導員(市の会計年度任用職員)として生徒の引率もしている。





# 市内全中学校 合同ダンス部

## 指導者

- ・総合型地域スポーツクラブ所属
- ・各種コンテスト入賞
- ・小学生年代の指導歴多数
- ・幼稚園教諭

## 中学校

- ・中学校で他の部活動に所属する生徒が掛け持ちとして参加するケースも。
- ・生徒のニーズに応じた、多種多様な活動が可能。
- ・学校の垣根を越えた、生徒同士の交流もできる。
- ・中学校側に連携する相手がないため、会場の調整や生徒指導面等の連携が難しい。



# 市内全中学校 合同プログラミング部

## 指導者

- ・EdTech企業の社員
- ・市内の小学校でプログラミング学習の指導
- ・白岡市出身

## 中学校

- ・GIGAスクールの端末を活用
- ・中学校側に連携する相手がないため、会場の調整や生徒指導面の連携が難しい。
- ・中学校で他の部活動に所属する生徒が掛け持ちとして参加するケースも。
- ・生徒のニーズに応じた、多種多様な活動が可能。
- ・学校の垣根を越えた、生徒同士の交流もできる。



# 各種説明会の実施

## ①教職員向け説明会（学校ごとに計4回）

教育委員会から各学校に出向いて説明

## ②生徒向け説明会（部活動ごとに計10回）

部活動の顧問と委託先団体、指導者

## ③保護者向け説明会（委託先団体主催で計4回）

市教委から地域部活動について説明

委託先団体からは入会手続き等についての説明

## ④新入生保護者説明会にて説明（学校ごとに計4回）

市教委から地域部活動について説明

**これ以外に何回も学校やPTAの会議等に出向いて説明**

# 例 地域部活動移行のメリット・デメリット (生徒・保護者)

## メリット

- より専門的な指導が受けられる。
- 競技種目の選択肢が増える。
- 土日両日の活動が可能となる。

※必ずしも両日活動しなければならないわけではない。

※土日両日活動した場合、平日（中学校部活動）は3日間以内の活動となる。

- 先生の負担が軽減され教科指導等がより充実する。

## デメリット

- 学校管理下外となる。
- 別途、保険加入が必要となる。

※今年度は、スポーツ安全保険に負担金無しで加入する。

- 将来的には受益者負担が必要となる。

※今年度は負担を求めない。

# フォーラムや現地視察会の実施



参会者 市長、県議会議員、市議会議員、県職員、市職員、  
小・中学教職員、マスメディア、スポーツ関連団体、保護者 等

# 中学校部活動・地域部活動ガイドラインの策定



生徒の健康面に配慮し、中学校部活動と地域部活動を合算して1週間のうち2日分以上を休養日とすること。

なお、中学校部活動のみの活動の場合は、土日のどちらかを休養日とすること。

地域部活動に移行した部活動の活動時間等について盛り込む

## 内田良（名古屋大学大学院教授・教育社会学）

### 【解説】

部活動の地域移行は必須とされて、その議論や動きが着々と進められていくなかにあって、ここ一年ほどの間に、具体的で現実的な問題が次々と浮かび上がってきています。記事中でも指導者の確保などの課題とその対応が示されています。

私が記事でとくに重要であると感じたのは、**地域の指導者が土日にとりあえず練習や大会参加を入れ込んで、むしろ「やりすぎ」が進む懸念**はまだほとんど議論されていない、次のことです。すなわち、です。「白岡市では、土日両日に活動した場合は、平日の活動を3日以内とするガイドラインを設け、過熱化を防ごうとしている」とのことです。部活動が学校であれ地域であれ、それを**総合的にマネジメントする方法がなければ**、結局は、学校で週4日＋地域で週2日、合計週6日といったことが起こりえます。これではむしろ、**過熱に拍車がかかり、人も場所も金も不足**してしまいます。

# 課題と成果

- ① 委託先団体（受け皿）について
- ② 指導者について
- ③ 活動時間及び活動日数について
- ④ 教職員の兼職兼業について
- ⑤ 施設・用具の管理について
- ⑥ 大会・コンクールの在り方について
- ⑦ 受益者負担額と保険料について
- ⑧ その他



## 課題と成果 ① 委託先団体（受け皿）について

- 令和3年度の委託先団体はPTAのOBを母体とした組織 **連携や調整についてはスムーズ**に行うことができた。
- 学校や生徒・保護者との連携を重視した運営を行っており、教職員の **負担軽減等において成果**があげられた。
- 学校ごとの事情に沿った対応や各部活動顧問との調整など、委託先と現場との調整を丁寧に対応するほど時間もかかり難しい。
- **ボランティア意識が強く**、契約を請け負う **事業者としての意識**や責任感がやや弱いことが課題として残る。

令和4年度以降の事業規模の拡大については負担が大き  
く、将来的に50部＋合同部活動となると請け負えない



民間企業も含めて、責任を持ってもらえる事業者を選定

## 課題と成果 ② 指導者について

- 小・中学校の教職員による兼職兼業はかかせない。
- 退職教員や教員を目指す大学生の配置も必要となる。

いずれにしても指導者が適切かどうかが重要  
(教職員か地域の指導者かという問題ではない)

- 指導者の数・質の確保とそのマッチング
- 指導者の評価システムや研修制度をどのように構築するべきか

公認スポーツ指導者資格 (JSPO) の活用  
→教職員にとってはハードルが高い

## 課題と成果 ③ 活動時間及び活動日数について

- 中学校部活動と地域部活動を統合した白岡市独自の部活動ガイドラインを策定
- 地域部活動へ移行した部活動については、土日の実施を認めたことで、その分、平日の活動が減り、平日の部活動に係る教職員の負担が軽減  
→少しずつ「平日3日案」もあり、という雰囲気。
- 「平日3日・休日2日」の活動となると、国や県の示すガイドラインとは異なる →あくまでも試験的に実施

教職員組合 白岡市独自のガイドラインに反対

「そもそも切り離してから考えないと働き方改革にならない」

学校現場は好評 生徒・保護者は賛否両論

## 課題と成果 ④ 教職員の兼職兼業について

- 部活動の指導をしたい教職員は一定数（白岡市の場合は競技を自由に選択できれば6割以上）おり、そういった教職員については兼職兼業を認めている  
→しかしながら、負担に感じる教職員については、同調圧力にならないように世論レベルの意識改革が必要となる
- 本来の業務へ影響が生じることなく、心身に過度な負担とならないようにすることが必要となる

現行の特殊業務手当（部活動手当）や兼職兼業による確定申告、36協定等の労務としての視点を含めたガイドラインの必要性

## 課題と成果 ⑤ 施設・用具の管理について

- 地域クラブ活動は学校管理下外となるが、学校施設の優先的な活用について、学校施設や生涯学習所管課と調整
- 中学校施設の一般開放等も含め、生涯学習所管課も少しずつ理解を示し始めている。
- 活動時に破損等が発生した場合に、修繕や新たな補充等の対応について調整が困難となることが懸念
- 合同クラブ活動が実施された場合には、場所の確保や施設の管理、責任の所在等において調整が必要
- 他の団体との調整について、不公平感が生じないようにする必要がある。中学生→公共施設 一般→学校施設

学校開放は開かれた学校にもつながり、地域としては好印象  
学校を管理する立場としては、負担が増える

## 課題と成果 ⑥ 大会・コンクールの在り方について

- 中体連主催の大会等において、複数の学校による合同クラブ活動によりチーム編成をした場合、編成の条件によっては参加資格がないことが問題となる。  
→白岡市ではすでにクラブチームが中体連主催大会に参加表明。地域クラブ活動（合同チーム）でも参加を検討。選抜チーム化による大会への参加は賛否。
- 大会等を開催する曜日によって、引率責任者が異なり混乱が生じる。また、役員を誰が行うのか整理が必要である。
- 大会やコンクールの成績が高等学校等の調査書に示されることへの生徒や保護者の不安感

地域、保護者は学校対抗の意識がいまだに根強い

## 課題と成果 ⑦ 受益者負担額と保険料について

- 活動内容や時間、指導者の人数や資格等により部活動ごとに会費等の額が変わってしまうことに対する不公平感  
→法の整備し、学校給食制度のように考えることが必要？
- 経済的に困窮する家庭に対する支援についての検討が必要  
→地域クラブ活動を教育活動として捉え、要保護・準要保護世帯への就学援助制度の対象する方向で検討
- 保険内容について日本スポーツ振興センター災害共済給付制度との違いについて、保護者への理解が必要

受益者負担額は月1500円が限度か？1回ワンコイン？

残りは行政負担やCSR等が必要か？

負担が多いと塾や習い事、クラブチームと何が違うのという話に

→教育活動としての実施では弱い

## 課題と成果 ⑧ その他

- 個人情報情報の共有と管理  
学校や教育委員会が保有する情報をどこまで提供できるのか。
- 委託先団体との契約  
単年度契約 長期複数年度契約 指定管理者制度の適用  
契約を結ばない 協定の締結 条例による整備
- 地域クラブ活動の展開手順  
段階的な移行を進める場合、移行した部と移行しなかった部  
の間で受益者負担等について不公平感が生じてしまう。
- 関係団体等との連携  
社会教育団体や関係所管課、学校等の立場で考え方の相違がある。ベクトルを同じ方向にするには、条例等の整備、ガイドラインなど制度として整えることも必要である。